

科目名	英語表現Ⅱ		学年・必修	2年	選択	使用教科書	『Revised Vision Quest English Expression II Ace!』(啓林館)			
			単位数	2	使用副教材	なし				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動及びこれら結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る基礎的な資質・能力を身に付ける。 ●物事に関する紹介や対話や説明・物語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえ、それに基づいて情報や考えなどについて話し合ったり、意見を交換したり、簡潔に書くことができる。 									
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的にAll Englishで授業を行います。 ●英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん間違えて、たくさん学びましょう。 ●英単語はインプット（覚える）とアウトプット（確認する）を何度も繰り返して覚えましょう。継続は力になります。 ●英単語や英文の意味は和訳するのではなく、英語で考え英語で説明できるように意識した方が、効率よく英語を吸収できます。 ●文法は定型文を暗唱し、なぜそういう構造なのかを理解することで、より深い知識を身に付けることができます。 ●発表する際は、原稿を丸読みのするのではなく、話す内容を理解し、流れや要点を押さえて自分の言葉で発表できるようにする癖を意識して付けることで、英語のスピーキング力が飛躍的に上がります。 ●スタディサプリを活用して、苦手問題を克服したり、検定対策をしたり、大学入試に備えましょう。 									
学習評価	学習評価			評価方法						
	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	評価方法			割合(%)			
	a	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	1	振返りシート、授業態度	授業への取り組み具合で評価します。	5			
	b	外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	2	発表の成果	スピーチ、ディベート、ディスカッション等活動のパフォーマンスを評価します。	25			
	c	言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	3	調査、小テスト	概要を把握する力、詳細を把握する力などを主に調査で評価します。	45			
			4	小テスト、調査	英語の運用の支えとなる知識やその理解を主に小テストで評価します。	25				
他校との関係性	担当する科目(教科)	担当する教科・科目	他校間での協力や連携する学習活動の例(連携活動を行う場合はその内容)							
	英語翻訳アプリについて	奥尻産生アプリ学B	翻訳アプリ『Deep L』は高い翻訳機能を持つとされているが、依然不自然な訳を産出することがある。どのようなインプットとなる言語情報を入力したら、どのようなアウトプットが出るのかを考察し、翻訳アプリの課題とその可能性を探る。							
学期	月	単元名(教科)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価				身に付けられるOkushirity 5.0	
					a	b	c	d	学習内容と学習のポイント	
前期	4	1. 自己紹介・シラバスの確認 2. Lesson 1 お花見	1 1 3	1. 自己紹介し、質問できる 2. 習熟度を確認する 3. 伝えたいメッセージに応じた主語を立てることができる。	○ 1	○ 2	○ 3 4		1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 自分の伸びしろを確認しよう。 3. 自分ですべて持っている表現を活用しながら、文法・文の種類を理解しよう。	デザイン力
	5	1. Lesson 2 漫画の楽しみ 2. Lesson 3 京都へ観光に	5	1. 伝えたいメッセージに応じた主語を立てることができる。 2. 自動詞と他動詞の区別をつけ、英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		主語や目的語を設定する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	自己管理能力
	6	Lesson 4 私の家族です	5	1. SVO, SVOOを意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 1 2	○ 2	○ 3 4		SVOやSVOOをとるかどうかが動詞の意味や構文と強いかかわりがあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように動詞に注目しましょう。	情報活用能力
	7	Lesson 5 保育園での授業体験	5	SVC, SVOCを意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		SVCやSVOCをとるかどうかが動詞の意味や構文と強いかかわりがあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように動詞に注目しましょう。	チーム力
	8	Lesson 6 サプライズパーティー	3	使役動詞や知覚動詞を意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		主語や目的語を設定する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	ひらめき力
	9	Lesson 7 映画のお誘い	5	話法を意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		話法は伝えたいメッセージによって変わっていきます。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	当事者意識
	10	Lesson 8 航空管制官になる	5	現在形と現在進行形を意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		時制を設定する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	実践力
	11	Lesson 9 趣味はピアノ	5	過去形と過去進行形を意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		時制を設定する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	デザイン力
後期	12	Lesson 10 『タイタニック』を見て	5	日本語と英語の態の違いを意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		態には使われるべきタイミングがあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	感受性
	1	Lesson 11 世界遺産の魅力	5	直説法と仮定法の違いを意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		直説法を使うかもしくは仮定法を使うかの判断は揺れがあるものです。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	発信力
	2 3	Lesson 12 ボランティア活動	5	助動詞を使用する状況を意識して英語を組み立て、意図したメッセージを伝えることができる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		助動詞は話者の判断が入り込みます。助動詞の個々の特徴を捉え、文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	レジリエンス力
	6 10	ライティング演習	4	一定の題について、「つながり」と「まとまり」のある英文を書くことができる。抽象と具体、接続詞の使い方などを理解し、自身のライティング能力を向上させる。	○ 2	○ 2	○ 3 4		パラグラフライティングをする機会を設けますので、論理の流れを言葉で表現できるように語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解し、表現につなげましょう。	課題発見力
	4 ~ 3	ディスカッション	13	与えられた題について自分の意見を述べたり、役割に応じてロールプレイを行うことで、ディベートにつながる基礎力を養う。	○ 1				発表の後は、振り返りの時間をとることがあります。言えたこと、言いたかったけど言えなかったことをメモし、調べることで少しずつ聴ける英語が増えていきます。	ひらめき力